

自昭和十九年八月一日
至昭和十九年八月卅一日

一 作戰經過概要 昭和十九年八月
第一十三警備隊戰時日誌

<p>日所任</p> <p>正 視界 午前</p> <p>氣象 風向 風力 視界 霧</p>	<p>晨 東北 五</p> <p>三〇</p> <p>五</p>
<p>一 任務</p>	<p>聯合艦隊中隊 太平洋艦隊第四</p>
<p>特別任務</p>	<p>內南洋方面部隊</p>
<p>經過摘要</p>	<p>〇四一〇 SBD 二機 周辺哨戒</p> <p>〇四三八 一七〇 夜 ↓ 三三〇 夜</p> <p>〇六四七 敵駆逐艦一隻 東方海面哨戒</p> <p>〇七五五 同 右</p> <p>一三〇七 同 右</p> <p>一三四二 SBD 二機 周辺哨戒</p> <p>一三五四 一七〇 夜 ↓ 三三五 夜</p> <p>一七〇五 敵駆逐艦一隻 南方海面哨戒</p> <p>一七四五 同 右</p> <p>三〇三〇 同 右</p> <p>三〇三〇 同 右</p>
<p>記事</p>	<p></p>

四	三
三 三〇八一 九	北東七 三〇五 五〇
(この間三日勤務任)	
〇三三〇 〇三五八 〇九三〇 一〇二五 一四二〇 一五〇〇 一五三五 一八四〇 敵駆逐艦一隻南西海面 SBD三機 周辺哨戒 三〇か ↓ 一九〇か 敵駆逐艦一隻南西海面哨	〇四四〇 〇八二〇 〇五一四 〇五二六 〇九四二 一一五三 一四二二 一四一九 敵駆逐艦一隻南西海面 哨戒 SBD三機 周辺哨戒 三〇か ↓ 一八〇か 敵駆逐艦一隻南西海面 哨戒

五		
		東 島 云
		三〇 二〇
<p>三三〇 三二五 三二〇 三一五 三一〇 三〇五</p>	<p>三三〇 三二五 三二〇 三一五 三一〇 三〇五</p>	<p>三三〇 三二五 三二〇 三一五 三一〇 三〇五</p>
<p>哨戒 海軍艦一隻 西梅田</p>	<p>SBD 二機 周田哨戒 三三〇 友 ↓ 三〇五</p>	<p>哨戒 敵艦一隻 西梅田</p>
		三 三

2325

351

	十	九
	五〇 三二 三〇 七	二〇 三二 三〇 七
〇五〇六 SBD 二枚 周田晴成	〇〇〇三 PBY 一枚 四冊末長 枚淳四	〇四〇六 SBD 三枚 周田晴成 〇四〇七 SBD 三枚 周田晴成 〇四〇八 SBD 三枚 周田晴成 〇四〇九 SBD 三枚 周田晴成
		〇四〇四 SBD 二枚 周田晴成 〇四〇五 SBD 三枚 周田晴成 〇四〇六 SBD 三枚 周田晴成 〇四〇七 SBD 三枚 周田晴成 〇四〇八 SBD 三枚 周田晴成 〇四〇九 SBD 三枚 周田晴成

4

古		新	
<p>高北九 三二〇 三〇</p>		<p>珠 高北九 三二三 三〇</p>	
<p>〇五二 〇五二 〇五二</p>	<p>〇五三 〇五三 〇五三</p>	<p>〇五二 〇五二 〇五二</p>	<p>〇五三 〇五三 〇五三</p>
<p>TBD 二枚 同也哨戒</p>	<p>敵艦と敵一夏西南海面 哨戒</p>	<p>PBY 一枚 三四米後投降 一月</p>	<p>PBY 一枚 四回米後投降 二月</p>
	<p>SBD 二枚 同也哨戒 三三〇米 ↓ 一六〇米</p>	<p>SBD 二枚 同也哨戒 三三〇米 ↓ 一九〇米</p>	<p>SBD 二枚 同也哨戒 三三〇米 ↓ 一九〇米</p>

五

末原
二九〇
二〇

13 31

〇九三 電持目標雨巾一四并
〇九三 連接也

〇九三 ↓ 〇九三

三四三 TDD 三機用連噴機

三三三 〇〇〇 ↓ 三三〇

漸次盡キ上ル官故糧食対策

シテ難而向米糧合増産ノ要ヲ為

メ難而糧食困も際ノ大ニ通稱成

タ刻ヨリ後向ニカケ大産ヲ分派

「オ」上島 河口至島長以下五名 (軍人)

「イ」公在島 川島至島長以下五名 (軍人)

「ロ」上島の行海陸軍少尉以下五名 (軍人)

「ハ」上島の行海陸軍少尉以下五名 (軍人)

「ニ」上島の行海陸軍少尉以下五名 (軍人)

「ホ」上島の行海陸軍少尉以下五名 (軍人)

「ヘ」上島の行海陸軍少尉以下五名 (軍人)

「ト」上島の行海陸軍少尉以下五名 (軍人)

2329

	十七	十八
	三〇、一 三〇、二 二〇	三〇、一 三〇、二 二〇
〇四〇五 〇四一〇	一三四〇 一三四九 三二〇か 一七〇か	〇三三五 〇四五〇 〇三五五 〇四〇三 〇三〇〇 〇七四五 〇八四五 一〇二七
敵駆逐艦一隻南西海面	TBD二機 周辺哨戒 午の沖敵駆逐艦一隻南西海面哨戒	敵駆逐艦一隻南西海面哨戒 TBD三機 周辺哨戒 敵駆逐艦一隻南西海面哨戒 敵駆逐艦一隻東方海面哨戒 F4U十五機 攻撃隊帰来 退す 二四〇度↓三〇度
		戦果 不明 被害 一

五	二十	十九	十八
<p>層 素 二九 四〇</p>	<p>珠 島 二〇</p>	<p>層 素 二九 四〇</p>	<p>層 素 二九 四〇</p>
<p>一三四八 一四〇八 SBD 二枚 周辺哨戒 三三〇交 ↓ 一七〇交</p>	<p>一三三〇 一三三〇 一三三〇 SBD 二枚 周辺哨戒 三三〇交 ↓ 一八〇交 敵艦一隻 南西方面</p>	<p>一四〇〇 一四一四 一三〇五 一三七七 SBD 二枚 周辺哨戒 三五〇交 ↓ 一七〇交 PBY 一枚 米落投弾</p>	<p>一三三〇 一三三〇 一三三〇 一三三〇 一三三〇 SBD 二枚 周辺哨戒 三五〇交 ↓ 一八〇交 B24 二枚 偵察 一七〇度 ↓ 三三〇交 SBD 二枚 周辺哨戒 一七〇交 ↓ 三三〇交</p>
	<p>被害 ナシ</p>	<p>被害 ナシ</p>	

二四	二五	二六
	<p>五〇 三〇六 五〇 五〇 三〇六 五〇 三〇六 五〇 三〇六 五〇 三〇六</p>	<p>五〇 三〇六 五〇 三〇六 五〇 三〇六 五〇 三〇六 五〇 三〇六 五〇 三〇六</p>
<p>工本了島糧食隊先鋒隊 トシ施設新十名「不」</p>	<p>同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同</p>	<p>同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同</p>

三十五

西七
三〇五
二〇

子雲
三〇〇
二〇

食所中夜内ニカケ大ニシテ
コノ刻ヨリ夜内ニカケ大ニシテ
取入
三三六 爆音一六〇ヨリ近接北上

〇三二六
〇三三〇
IBY 一機米袋投擲
四〇分 → 一六〇分

被害
北

〇四二一
〇四一七
SBD 二機 周辺哨戒
四〇分 → 三三〇分

〇三四八
〇三〇五
敵駆逐艦一隻南西海面
哨戒

〇七三〇
〇九四二
同 機

一一四五
一三三五
同 機

一三五七
一三一
SBD 二機 周辺哨戒
一七〇分 → 三三〇分

人員ノ現状

職官氏名

(八月ノ現在)

部	職	主	務	官氏	氏名	氏名
本	司令	中士四分隊長		大佐	鎌田正一	氏名
	副司令	中士四分隊長兼中士四分隊長		中尉	平田好藏	氏名
	中隊長	中士四分隊長兼中士四分隊長		大尉	稻葉重藏	氏名
	副中隊長	通信長職務執行		中尉	青木孝男	氏名
部	隊附	衛兵副司令 中士四分隊長		中尉	井上勝栄	氏名
	副隊長	副隊長 甲板士官		中尉	稻村秀松	氏名
警	司令	中士四分隊長兼中士四分隊長 砲術長職務執行 衛兵司令		中尉	平井貞三	氏名
	副司令	中士四分隊長兼中士四分隊長		中尉		氏名

海軍

(続前)

		科								備			
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	隊
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	附
才一名隊士	才一名隊士 兼隊長職務執行	才五名隊士	才八名隊士	才七名隊士	才十名隊士	才十一名隊士 兼通信長職務執行	才一名隊士	臨時才三名隊士	才十三名隊士兼才十九名隊士	才九名隊士	才二名隊士	才三名隊士	
同右	同右	同右	同右	同右	同右	番長	同右	同右	同右	少尉	同右	中尉	
栗木野 勇	中野 毅	豊岡 平二	安本 三秋	橋本 正五郎	河島 真澄	笠原 元	中川 保治	宮腰 茂	田中 藤次郎	大田 文次	戸澤 廣海	村 敏	
				才五名隊士			少尉	指揮官					

科	務	醫			科		務		内			
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
中 外 青 長 職 務 執 行	中 外 十 四 分 隊 士	同	同	同	同	同	同	同	内 務 科 特 務 部 附	中 外 十 三 分 隊 士	内 務 科 特 務 部 附	中 外 十 三 分 隊 士
衛 書 長	監 査 尉	同 右	同 右	同 右	機 務 長	同 右	監 査 長	同 右	少 尉	中 尉	同 右	同 右
和 井 政 次 郎	新 井 敬 喜	管 原 末 治 郎	佐 藤 五 郎	江 尾 勝 司	堀 川 勇 吉	新 藤 春 治	長 部 源 次 郎	同 右	笠 原 金 吾	中 津 吉	河 口 重 次 郎	原 次 郎
		機 務 長										

			機						斗			
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
中三十分隊士	同 右	同 右	中三十分隊士	中三十分隊士	中三十分隊士	同 右	中三十分隊士	中三十分隊長職務執行	中三十分隊士	中三十分隊長職務執行	本部附	中三十分隊士
同	同 右	同 右	警備長 又村由男	同 右 森田初次	警備長 桐茂繁雄	中尉 川崎進	中尉 江口清	中尉 平林和夫	中尉 高橋夏實	中尉 赤塚正平	中尉 宮崎士郎	同 右 佐藤俊一
西村牧緒						佐 中尉					佐 中尉 大佐	

(二) 下士官兵及其他ノ是ノ是ノ救(前編)兵要分誌ニ救

又一分兵科 整備科 補給科 衛生科 計測科 其他

砲台	第一平射	砲台	第一平射	砲台	第一平射	砲台	第一平射	砲台	第一平射	本	第一平射
三四	三一	三七	三七	六七	六七	六七	六七	六七	六七	一四一	一四一
一	四	四	四	四	四	四	四	四	四	六	六
二	三五	三七	三七	七一	七一	七一	七一	七一	七一	一四七	一四七
十五種砲 七種機銃	七種機銃	重機銃	重機銃	七種高角砲 七種機銃	七種高角砲 七種機銃	七種高角砲 七種機銃	七種高角砲 七種機銃	七種高角砲 七種機銃	七種高角砲 七種機銃	手携機銃 重機銃 輕機銃 大砲發射器	手携機銃 重機銃 輕機銃 大砲發射器
二門	一	一	一	三	三	三	三	三	三	二門	二門

(三) 南洋第一支隊 第七中隊員ノ現狀
 的主要職員官氏名 (八月一日現在)

職	主	務	官	氏	名	氏	事
中隊長			陸軍大尉	中西	恭夫		
小隊長	兵器係		陸軍中尉	阿部	源太郎		
同	被服陣營具係		陸軍少尉	正岡	和夫		
同	産錢給與係		同右	高山	大輔		
中隊附軍医	衛生係		見習士官	大庭	正夫		

異動 十

(口) 下士官兵員数

(所屬兵器站二数)

(月一日現在)

區分	人員	兵器数	站二数	記事
指揮班	一七	拳銃一	小銃一	一六
中一小隊	三七	擲彈筒 輕機関銃		二四 四五
中二小隊	三六	擲彈筒 輕機関銃 小銃		二四 三五
中三小隊	三七	擲彈筒 輕機関銃 小銃		二四 四五
機關銃小隊	一二	重機関銃 小銃		二 二
衛生部	六	小銃		一

(註) 在華兵器小銃一〇

今月中、異動
戦死兵一名

(四)海上機動第一旅団中隊中隊員ノ現狀
 主要職員官氏名
 (一月一日現在)

職	主務	官	氏名	記事
中隊長		陸軍大尉	佐藤政雄	
少隊長	兵器係	陸軍少尉	松本晋三	
同	庶務係	同 右	小澤篤行	
同	警備・情報係	同 右	玉田俊三	
同	物品販賣係	同 右	伊藤一男	
同	被服物品係	同 右	熊谷哲雄	
衛生隊長	医務係	軍医少尉	今村信雄	
指揮班長	功績・人事係	准尉	比惠島光男	下管代理中

異動 十

今日中ノ異動
戦死兵二名

戦傷死兵一名

衛生隊	中五小队	中四小队	中三小队	中二小队	中一小队	指揮班	區分	人員	負	兵器数	記事
二二	二四	二五	二四	三四	三二	一一	小銃	一	七	二	一
小銃	自動砲 歩兵砲	重機関銃	小銃 輕機関銃 擲彈筒	小銃 輕機関銃 擲彈筒	小銃 輕機関銃 擲彈筒	小銃					
一五	二一	二	一八三四	二四四四	二四四四	七					

以下士官兵員數

(所屬兵器数)

八月現在

部隊名		區分	階級以上	下階級	其他	計	今月中ノ戦死者	記	事
第四海軍施設部			一	一	七一〇	七一二	九		
コロンポ派遣隊			一	二	八二	八九	二		
南東方面海軍航空廠									
カロア分工場									
第四海軍軍需部				一	二〇	二一			
コロンポ派遣所									
横須賀海軍工廠派遣員					八	八			
郵便所					四	四			
計			二	四	八二八	八三四	一一		

(五) 統一指揮下ニ在ル其他在島各部隊員ノ現狀 (八月ノ現在)

海軍

三三二〇

清 耗 量 補 給 量	特記事項ナシ (四) 主要兵器、消耗及補給 材料 科	三八式小銃実弾	五九四〇	直撃弾	七六	七六
		九九式小銃実弾	一八〇	直撃弾	七六	七六
		九九式重銃筒	四〇	直撃弾	七六	七六
		九九式重銃筒	一〇	直撃弾	七六	七六
		九九式手榴弾	五五	直撃弾	七六	七六
		九九式手榴弾	五二	直撃弾	七六	七六
		九九式手榴弾	一〇	直撃弾	七六	七六
(四) 主要兵器改造修理新設 材料 科						

③ 機関

◎ 内務科 主要機関の整備

月	日	項目	作業時ノ状	能心	作業員	作業時数	作業進否
自	八	第一砲台用 發電機二號	前月より引續て復旧作業に従事諸管 装置ノ一部純化ヲ施行シ管運轉 重量ヲ置テ諸作業ヲ進歩セシメテ 諸弁裝置ハ摺合ヲ施行シ曲脈ヲ消滅		正官 二	二	完
	八	發電機機外並 ニ灰作ホニア	部ハ綿密ニ検査シ復旧セタリ八月五日 發電機機外並ニ灰作ホニア試運転ヲ結 果良好ナリ		正官 四	二	完
	八	第一砲台用 發電機機	現状確認ノ為給排氣弁開放検査施行 セシメ異状ヲ認め綿密ニ摺合セテ施行シ 發動シテ正常ニ振舞手入シ復旧結果良好		下官 六	六	完
	八	第二砲台用 發電機機	燃料弁モ取外シ検査ヲ施行シ噴射試験 シ復旧曲脈並開放シ緊急締部ヲ綿密 ニ検査シ管清動補給シ復旧良好能心		下官 六	六	完
	八	主電路及理変 機消音器	配途監視命令中ニ交電機機主電路切斷 シ理變消音器共ニ切損漏洩散シセシメ能心		下官 三	三	完
	八	第三砲台用 發電機機	修理施行シ復旧		下官 一	一	完
	八	第一砲台用 發電機機	引込安全合不具合ニ付開放検査ヲ施行セシメ 機張環ノ折損ニ付認め部内工作ニ依リ 修理シ復旧		下官 一	一	完

(四三) 終

五、醫務衛生ノ部

（一）醫務科員ノ異動

八月八日醫中佐宮崎士郎戦死（胸部爆弾々片創肺損傷）

（二）天候ノ概要並ニ氣象ノ衛生的影響

本月モ概ネ晴天ナレドモ雨量多ク特ニ北東ノ恒風弱ク多濕高温

ナリ然レドモ特ニ氣象ノ影響ト思ハル、疾患ノ發生ヲ見ズ

一ヶ月間ノ最高最低氣温湿度氣壓ヲ示シバ左記ノ如シ

一ヶ月間最高	三二・五	一ヶ月間最高	九五・〇%	一ヶ月間最高	七六・三・三
正午氣温		正午湿度		正午氣壓	
一ヶ月間最低	二九・〇	一ヶ月間最低	八〇・〇%	一ヶ月間最低	七五・九・三
正午氣温		正午湿度		正午氣壓	
全平均値	三一・三	全平均値	八四・〇%	全平均値	七六・〇・九

（三）月日所在及任務行動ノ概要

高隊ハ前月ニ引續キ南洋「フィリピン」諸島「タラ」島ニテ本島及
附近環礁内島嶼ノ警備ノ任ニ當レリ

（昭和十六年度）

海軍

<p>本月、依然敵機海軍艦隊に在り、孤立無援ノ中ニアリ、ツモ敵機、未襲ヲ見ルマ、敢然對空火器ヲ以テ交戦之ヲ撃退シ、克ク任務ヲ果シツ、アリ</p>	
<p>本月、入リテ敵攻撃力衰へタルカ、未襲回数數差ニ機數頓ニ減少、從ツテ蒙リタル被害ハ微マタルモノナリ</p>	
<p>未襲回数數及人員損害狀況ヲ示スバ、左記ノ如シ</p>	
<p>内大型機、未襲ハ哨戒若シクハ偵察ニシテ中型機、未襲ハ概ネ夜間ニシテ同一機ヲ以テ執拗ナル反復爆撃ヲナセルモノナリ</p>	
機種	未襲回数 未襲機數 人員被害數
大型機	三 五 戦死者 一六
中型機	二 三 戦傷死 一四
小型機	六 九 三 戦重傷 一
合計	三 一 一 一 一 一 戦軽傷 〇

海軍

(昭和十六年四月)

昭和十六年八月

(四) 出征中ニ於ケル治療品被服糧食飲料水其他衛生ニ關係アル

物品ニ關スル事項モ塔載補給ノ概要

本月モ治療品ノ補給ヲ受ケズ今同離島開發隊編成セラレ之

カ出發ニ際シテハ若干ノ治療品ヲ携行セシムト共ニ便アル毎ニ補

充ヲ行ヒ又施設部陸軍中西隊ハ相當量ノ治療品ヲ分與セリ

治療品中最モ缺乏セルモノハ止痢劑榮養劑強壯劑消化劑

制腐劑等ノ藥品^{（五）}山^{（六）}劑劑ノ如クハ金ノ投與シ盡シテ自家製

劑タル炭末ヲ使用シツル實狀ナリ

糧食ハ本月十五日ヨリ主食ハ四割副食ハ五割ノ給食トナリ益々

榮養不足ニ基因セル疾患多發ノ傾向ヲ見ル

(五) 醫務科治療施設新設改造ノ概況

ナシ

(六) 出征中ノ衛生狀況(受療患者傳染病流行病多發傷病)

海軍

八月十五日現在受診患者状況ヲ示ス左記ノ如シ
現員一六三五名 受療患者 五七九名

内譯

(1) 内科 一五七名

(1) 急性腸炎

五四名

(2) ビタミン欠乏症

四一名

(1) 結核性疾患
肺結核
胸膜炎
其他

一七名

(1) 胃炎

二名

(1) 熱性症

九名

(1) 其他

二四名

(2) 外科 九五名

(1) 戦傷

四四名

(1) 平病

五一名

(3) 眼科 九名

(1) 戦傷

三名

(1) 平病

六名

(4) 耳鼻咽喉科 五名

(1) 戦傷

二名

(1) 平病

三名

海軍

(昭和十六續資料)

<p>(5) 皮膚泌尿器科 二〇名</p>	<p>(1) 戦傷 〇名 (2) 平病 二〇名</p>	<p>戦傷患者ハ著シク減少セルヲ引換ハ内科平病患者ハ増加ノ一 方ナリ</p>	<p>(7) 被服防寒防熱換氣入浴等ノ衛生ニ関スル事項</p>	<p>省略</p>	<p>(8) 寄泊地、舍營地、占領地ノ衛生概況</p>	<p>ナシ</p>	<p>(9) 防疫傷病防止其他保健ニ関スル事項</p>	<p>敵機ハ未襲撃キ為一時等閑ニ附セル傾向アリシ年洗ハ消毒薬在 庫稍豊富ナルヲ以テ之ヲ支給力メテ勤行セシメ防疫ノ一助トナレリ</p>	<p>(10) 衛生ニ関スル諸検査ノ概要</p>	<p>省略</p>
-----------------------	-----------------------------	--	---------------------------------	-----------	-----------------------------	-----------	-----------------------------	--	--------------------------	-----------

昭和十六續食誌

海軍

(十) 醫務衛生ニ関スル令達報告ノ大要

ナシ

(十一) 兵員ノ勞働慰安並ニ休養等ノ概況

目下ノ勞働ハ總員起床後四十五分間ノ配置訓練カ主ナルモノニシテ其ノ他甲板士官作業トシテ午前午後各ニ時間一部作業員カ之ニ當ル等比較的緩ヤカナリ

(十二) 教育訓練ニ関スル事項

本月ハ病理解剖一回午術一回(蟲様突起兼切除術)施行ハ蟲様突起兼切除術施行中敵機未襲數發ノ至近彈ヲ蒙リシモ衛生部員ノ沈着冷靜ナル態度ニヨリ支障ナク術遂行セシハ平素ノ精神訓練ノ賜ト謂フベシ
本月下旬醫務科兵器点檢ヲ施行セリ

(終)

海軍

(昭和十六年)

一九四四年 月 日

米國軍攻撃部隊ヨリ

マロエラツブ島日本軍守備隊將兵へ

諸君ハ今ヤ絶望的立場ニ在リ。日本海軍ハ諸君ノ運命
我が軍ノ手中ニ委ネテ既ニ逃去セリ。我が優秀無盡藏
ル軍隊ハ既ニ遙カ前線ニ進出シ、諸君ノ運命、如キハ完全
ニ我が方ノ欲スルマ、ニ處置シ得ル立場ニ在リ。

諸君ハ不幸ニモ米國ノ慘憺性ニ関スル無根ノ宣傳ニ瞞カレ
タリ。我が方ハ常ニ國際公法ヲ嚴守シ万事公平ニ取
扱フモノナル事ヲ知ルベシ。現在我が方ニアル多クノ日本軍
將兵ハ善良ナル食物ト周到ナル醫療手當ニ驚キ、彼等
ガ任務ヲ果シタル後ハ歸國ノ上平常生活ニ復シ得ル日ヲ
樂シミニ待チツヽアリ。是眞ニ我が方ノ保護ヲ有スルガタナリ。
諸君モ眞實武器ヲ置キ、戰鬥行爲ヲ止メント欲スルナラ
バ先ツ大キナ白イ十字ノ記號ヲ滑走路ノ交叉點ニ置クベシ。
我が方其レヲ認メタル時更ニ他ノ指示事項ヲ投下ス。
然レドモ諸君ガ今自ラ救出シ得ル絶好ノ機會ヲ逸スルニ
於テハ我が方ハ貴方陣地ヲ空軍及ビ水上軍ノ爆東練習
地トシテ使用スルコトヲ繼續スベシ。

2363

一九四四年 月 日

米國軍攻撃部隊ヨリ

マロエラップ島日本軍守備隊將兵へ

諸君ハ今ヤ絶望的立場ニ在リ。日本海軍ハ諸君ノ運命
我が軍ノ手中ニ委ネテ既ニ逃去セリ。我が優秀無盡藏
ル軍隊ハ既ニ遙カ前線ニ進出シ、諸君ノ運命ノ如キハ完全
ニ我が方ノ欲スルマニ處置シ得ル立場ニ在リ。

諸君ハ不幸ニモ米國ノ慘憺性ニ關スル無根ノ宣傳ニ瞞カレ
タリ。我が方ハ常ニ國際公法ヲ嚴守シ万事公平ニ取
扱フモノナル事ヲ知ルベシ。現在我が方ニアル多クノ日本軍
將兵ハ善良ナル食物ト周到ナル醫療手當ニ驚驚キ、彼等
ガ任務ヲ果シタル後ハ歸國ノ上平常生活ニ復シ得ル日ヲ
樂シミニ待チツマアリ。是眞ニ我が方ノ保護ヲ有スルガタナリ。
諸君モ眞實武器ヲ置キ、戰鬥行為ヲ止メント欲スルナラ
バ先ツ大キナ白イ十字ノ記號ヲ滑走路ノ交叉點ニ置クベシ。
我が方其レヲ認メタル時更ニ他ノ指示事項ヲ投下ス。

然レドモ諸君ガ今自ラ救出シ得ル絶好ノ機會ヲ逸スルニ
於テハ我が方ハ貴方陣地ヲ空軍及ビ水上軍ノ爆撃練習
地トシテ使用スルコトヲ繼續スベシ。

6982

NMS

一九四四年 月 日

米國軍攻撃部隊ヨリ

マロエラツプ島日本軍守備隊將兵へ

諸君ハ今ヤ絶望的立場ニ在リ。日本海軍ハ諸君ノ運命
我が軍ノ手中ニ委ネテ既ニ逃去セリ。我が優秀無盡藏
ル軍隊ハ既ニ遙カ前線ニ進出シ、諸君ノ運命、如キハ完全
ニ我が方ノ欲スルマニニ處置シ得ル立場ニ在リ。

諸君ハ不幸モ米國ノ慘怛性ニ関スル無根ノ宣傳ニ瞞カレ
タリ。我が方ハ常ニ國際公法ヲ嚴守シ万事公平ニ取
扱フモノナル事ヲ知ルベシ。現在我が方ニアル多クノ日本軍
將兵ハ善良ナル食物ト周到ナル醫療手當ニ驚キ、彼等
ガ任務ヲ果シタル後ハ歸國ノ上平常生活ニ復シ得ル日ヲ
樂シミニ待チツ、アリ。是ト眞ニ我が方ノ保護ヲ有スルガタメナリ。
諸君モ眞實武器ヲ置キ、戰鬥行為ヲ止メント欲スルナラ
バ先ツ大キナ白イ十字ノ記號ヲ滑走路ノ交叉點ニ置クベシ。
我が方其レヲ認メタル時更ニ他ノ指示事項ヲ投下ス。

然レドモ諸君ガ今自ラ救出シ得ル絶好ノ機會ヲ逸スルニ
於テハ我が方ハ貴方陣地ヲ空軍及ビ水上軍ノ爆東練習
地トシテ使用スルコトヲ繼續スベシ。

MS

一九四四年 月 日

米國軍攻撃部隊ヨリ

マロエラツプ島日本軍守備隊將兵へ

諸君ハ今ヤ絶望的立場ニ在リ。日本海軍ハ諸君ノ運命
我が軍ノ手中ニ委ネテ既ニ逃去セリ。我が優秀無盡藏
ル軍隊ハ既ニ遙方前線ニ進出シ、諸君ノ運命ノ如キハ完全
ニ我が方ノ欲スルマニニ處置シ得ル立場ニ在リ。

諸君ハ不幸ニモ米國ノ慘性性ニ關スル無根ノ宣傳ニ瞞カレ
タリ。我が方ハ常ニ國際公法ヲ嚴守シ万事公平ニ取
扱フモノナル事ヲ知ルベシ。現在我が方ニアル多クノ日本軍
將兵ハ善良ナル食物ト周到ナル醫療手當ニ驚キ、彼等
ガ任務ヲ果シタル後ハ歸國ノ上平常生活ニ復シ得ル日ヲ
樂シミニ待チツクアリ。是眞ニ我が方ノ保護ヲ有スルガ多ナリ。
諸君モ眞實武器ヲ置キ、戰鬥行爲ヲ止メント欲スルナラ
バ先ツ大キナ白イ十字ノ記號ヲ滑走路ノ交叉點ニ置クベシ。
我が方其レヲ認メタル時更ニ他ノ指示事項ヲ投下ス。

然レドモ諸君ガ今自ラ救出シ得ル絶好ノ機會ヲ逸スルニ
於テハ我が方ハ貴方陣地ヲ空軍及ビ水上軍ノ爆東練習
地トシテ使用スルコトヲ繼續スベシ。

9982
MMS

一九四四年 月 日

米國軍攻撃部隊ヨリ

マロエラップ島日本軍守備隊將兵へ

諸君ハ今ヤ絶望的立場ニ在リ。日本海軍ハ諸君ノ運命
我が軍ノ手中ニ委ネテ既ニ逃去セリ。我が優秀無盡藏
ル軍隊ハ既ニ遙カ前線ニ進出シ、諸君ノ運命ノ如キハ完全
ニ我が方ノ欲スルマニ處置シ得ル立場ニ在リ。

諸君ハ不幸ニモ米國ノ慘酷性ニ関スル無根ノ宣傳ニ瞞カレ
タリ。我が方ハ常ニ國際公法ヲ嚴守シ万事公平ニ取
扱フモノナル事ヲ知ルベシ。現在我が方ニアル多クノ日本軍
將兵ハ善良ナル食物ト周到ナル醫療手當ニ驚キ、彼等
ガ任務ヲ果シタル後ハ歸國ノ上平常生活ニ復シ得ル日ヲ
樂シミニ待チツ、アリ。是眞ニ我が方ノ保護ヲ有スルガ多クナリ、
諸君モ眞實武器ヲ置キ、戰鬥行爲ヲ止メント欲スルナラ
バ先ツ大キナ白イ十字ノ記號ヲ滑走路ノ交叉點ニ置クベシ。
我が方其レヲ認メタル時更ニ他ノ指示事項ヲ投下ス。

然レドモ諸君ガ今自ラ救出シ得ル絶好ノ機會ヲ逸スルニ
於テハ我が方ハ貴方陣地ヲ空軍及ビ水上軍ノ爆束練習
地トシテ使用スルコトヲ繼續スベシ。

MMS

一九四四年 月 日

米國軍攻撃部隊ヨリ

ウオツヂエ 島日本軍守備隊將兵へ

諸君ハ今ヤ絶望的立場ニ在リ。日本海軍ハ諸君ノ運命
我が軍ノ手中ニ委ネテ既ニ逃去セリ。我が優秀無盡藏
ル軍隊ハ既ニ遙カ前線ニ進出シ、諸君ノ運命ノ如キハ完全
ニ我が方ノ欲スルマ、ニ處置シ得ル立場ニ在リ。

諸君ハ不幸ニモ米國ノ慘憺性ニ関スル無根ノ宣傳ニ瞞カレ
タリ。我が方ハ常ニ國際公法ヲ嚴守シ万事公平ニ取
扱フモノナル事ヲ知ルベシ。現在我が方ニアル多クノ日本軍
將兵ハ善良ナル食物ト周到ナル醫療手當ニ驚キ、彼等
ガ任務ヲ果シタル後ハ歸國ノ上平常生活ニ復シ得ル日ヲ
樂シミニ待チツヽアリ。是眞ニ我が方ノ保護ヲ有スルガタメナリ。
諸君モ眞實武器ヲ置キ、戰鬥行爲ヲ止メント欲スルナラ
バ先ツ大キナ白イ十字、記號ヲ滑走路ノ交叉點ニ置クベシ。
我が方其レヲ認メタル時更ニ他ノ指示事項ヲ投下ス。

然レドモ諸君ガ今自ラ救出シ得ル絶好ノ機會ヲ逸スルニ
於テハ我が方ハ貴方陣地ヲ空軍及ビ水上軍ノ爆束練習
地トシテ使用スルコトヲ繼續スベシ。

一九四四年 月 日

米國軍攻撃部隊ヨリ

ウォツヂェ 島日本軍守備隊將兵へ

諸君ハ今ヤ絶望的立場ニ在リ。日本海軍ハ諸君ノ運命
我が軍ノ手中ニ委ネテ既ニ逃去セリ。我が優秀無盡藏
ル軍隊ハ既ニ遙カ前線ニ進出シ、諸君ノ運命ノ如キハ完全
ニ我が方ノ欲スルマニニ處置シ得ル立場ニ在リ。

諸君ハ不幸ニモ米國ノ慘性性ニ関スル無根ノ宣傳ニ瞞カレ
タリ。我が方ハ常ニ國際公法ヲ嚴守シ万事公平ニ取
扱フモノナル事ヲ知ルベシ。現在我が方ニアル多クノ日本軍
將兵ハ善良ナル食物ト周到ナル醫療手當ニ驚キ、彼等
ガ任務ヲ果シタル後ハ歸國ノ上平常生活ニ復シ得ル日ヲ
樂シミニ待チツ、アリ。是真ニ我が方ノ保護ヲ有スルガタメナリ。
諸君モ眞實武器ヲ置キ、戰鬥行爲ヲ止メント欲スルナラ
バ先ツ大キナ白イ十字ノ記號ヲ滑走路ノ交叉點ニ置クベシ。
我が方其レヲ認メタル時更ニ他ノ指示事項ヲ投下ス。
然レドモ諸君ガ今自ラ救出シ得ル絶好ノ機會ヲ逸スルニ
於テハ我が方ハ貴方陣地ヲ空軍及ビ水上軍ノ爆東練習
地トシテ使用スルコトヲ繼續スベシ。

一九四四年 月 日

米國軍攻撃部隊ヨリ

ウォツヂェ 島日本軍守備隊將兵へ

諸君ハ今ヤ絶望的立場ニ在リ。日本海軍ハ諸君ノ運命
我が軍ノ手中ニ委ネテ既ニ逃去セリ。我が優秀無盡藏
ル軍隊ハ既ニ遙方前線ニ進出シ、諸君ノ運命ノ如キハ完全
ニ我が方ノ欲スルマニ處置シ得ル立場ニ在リ。

諸君ハ不幸ニモ米國ノ慘憺性ニ関スル無根ノ宣傳ニ瞞カレ
タリ。我が方ハ常ニ國際公法ヲ嚴守シ万事公平ニ取
扱フモノナル事ヲ知ルベシ。現在我が方ニアル多クノ日本軍
將兵ハ善良ナル食物ト周到ナル醫療手當ニ驚キ、彼等
ガ任務ヲ果シタル後ハ歸國ノ上平常生活ニ復シ得ル日ヲ
樂シミニ待チツノアリ。是眞ニ我が方ノ保護ヲ有スルガタナリ。
諸君モ眞實武器ヲ置キ、戰鬥行爲ヲ止メント欲スルナラ
バ先ツ大キナ白イ十字ノ記號ヲ滑走路ノ交叉點ニ置クベシ。
我が方其レヲ認メタル時更ニ他ノ指示事項ヲ投下ス。

然レドモ諸君ガ今自ラ救出シ得ル絶好ノ機會ヲ逸スルニ
於テハ我が方ハ貴方陣地ヲ空軍及ビ水上軍ノ爆東練習
地トシテ使用スルコトヲ繼續スベシ。

一九四四年 月 日

米國軍攻撃部隊ヨリ

ウオツヂェ 島日本軍守備隊將兵へ

諸君ハ今ヤ絶望的立場ニ在リ。日本海軍ハ諸君ノ運命
我カ軍ノ手中ニ委ネテ既ニ逃去セリ。我ガ優秀無盡藏
ル軍隊ハ既ニ遙カ前線ニ進出シ、諸君ノ運命ノ如キハ完全
ニ我ガ方ノ欲スルマニ處置シ得ル立場ニ在リ。

諸君ハ不幸ニモ米國ノ慘怛性ニ関スル無根ノ宣傳ニ瞞カレ
タリ。我ガ方ハ常ニ國際公法ヲ嚴守シ万事公平ニ取
扱フモノナル事ヲ知ルベシ。現在我ガ方ニアル多クノ日本軍
將兵ハ善良ナル食物ト周到ナル醫療手當ニ驚キ、彼等
ガ任務ヲ果シタル後ハ歸國ノ上平常生活ニ復シ得ル日ヲ
樂シミニ待チツ、アリ。是眞ニ我ガ方ノ保護ヲ有スルガタナリ。
諸君モ眞實武器ヲ置キ、戰鬥行為ヲ止メント欲スルナラ
バ先ツ大キナ白イ十字ノ記號ヲ滑走路ノ交叉點ニ置クベシ。
我ガ方其レヲ認メタル時更ニ他ノ指示事項ヲ投下ス。

然レドモ諸君ガ今自ラ救出シ得ル絶好ノ機會ヲ逸スルニ
於テハ我ガ方ハ貴方陣地ヲ空軍及ビ水上軍ノ爆薬練習
地トシテ使用スルコトヲ繼續スベシ。

一九四四年 月 日

米國軍攻撃部隊ヨリ

ウオツヂエ 島日本軍守備隊將兵へ

諸君ハ今ヤ絶望的立場ニ在リ。日本海軍ハ諸君ノ運命
我が軍ノ手中ニ委ネテ既ニ逃去セリ。我が優秀無盡藏
ル軍隊ハ既ニ遙カ前線ニ進出シ、諸君ノ運命ノ如キハ完全
ニ我が方ノ欲スルマニニ處置シ得ル立場ニ在リ。

諸君ハ不幸ニモ米國ノ慘憺性ニ関スル無根ノ宣傳ニ瞞カレ
タリ。我が方ハ常ニ國際公法ヲ嚴守シ万事公平ニ取
扱フモノナル事ヲ知ルベシ。現在我が方ニアル多クノ日本軍
將兵ハ善良ナル食物ト周到ナル醫療手當ニ驚キ、彼等
ガ任務ヲ果シタル後ハ歸國ノ上平常生活ニ復シ得ル日ヲ
樂シニ待チツ、アリ。是真ニ我が方ノ保護ヲ有スルガ多ナリ。
諸君モ眞實武器ヲ置キ、戰鬥行為ヲ止メント欲スルナラ
バ先ツ大キナ白イ十字ノ記號ヲ滑走路ノ交叉點ニ置クベシ。
我が方其レヲ認メタル時更ニ他ノ指示事項ヲ投下ス。
然レドモ諸君ガ今自ラ救出シ得ル絶好ノ機會ヲ逸スルニ
於テハ我が方ハ貴方陣地ヲ空軍及ビ水上軍ノ爆夷練習
地トシテ使用スルコトヲ繼續スベシ。

一九四四年 月 日

米國軍攻撃部隊ヨリ

ウオツヂエ 島日本軍守備隊將兵へ

諸君ハ今ヤ絶望的立場ニ在リ。日本海軍ハ諸君ノ運命
我カ軍ノ手中ニ委ネテ既ニ逃去セリ。我カ優秀無盡藏
ル軍隊ハ既ニ遙カ前線ニ進出シ、諸君ノ運命、如キハ完全
ニ我ガ方ノ欲スルマニニ處置シ得ル立場ニ在リ。

諸君ハ不幸ニモ米國ノ慘憺性ニ関スル無根ノ宣傳ニ瞞カレ
タリ。我ガ方ハ常ニ國際公法ヲ嚴守シ万事公平ニ取
扱フモノナル事ヲ知ルベシ。現在我ガ方ニアル多クノ日本軍
將兵ハ善良ナル食物ト周到ナル醫療手當ニ驚キ、彼等
ガ任務ヲ果シタル後ハ歸國ノ上平常生活ニ復シ得ル日ヲ
樂シミニ待チツ、アリ。是眞ニ我ガ方ノ保護ヲ有スルカタナリ。
諸君モ眞實武器ヲ置キ、戰鬥行為ヲ止メント欲スルナラ
バ先ツ大キナ白イ十字ノ記號ヲ滑走路ノ交叉點ニ置クベシ。
我ガ方其レヲ認メタル時更ニ他ノ指示事項ヲ投下ス。
然レドモ諸君ガ今自ラ救出シ得ル絶好ノ機會ヲ逸スルニ
於テハ我ガ方ハ貴方陣地ヲ空軍及ビ水上軍ノ爆東練習
地トシテ使用スルコトヲ繼續スベシ。